

# 令和7年度 金属プレス研修塾 開塾式

日 時：令和7年9月19日（金）  
場 所：1部 たかつガーデン「鈴蘭」 2部 杯杯天山閣  
内 容：1部 開塾式、塾生名刺交換、塾生自己紹介、関係者挨拶、塾生挨拶号令の練習など  
開塾式講話 講師：濱田恵氏（濱田プレス工藝株式会社 社長）  
2部 塾生交流会（食事会）  
参 加 者：22名（うち塾生14名） 塾生交流会参加者：19名（うち塾生14名）

『金属プレス研修塾』は2023年度から始まった新しい研修で、1期生は（コロナ明けの影響もあり）15名、2期生は18名が受講しました。



加藤大典 塾生リーダーから進行の説明など

そしてこの日はその3期生の開塾式、塾生14名でスタートしました。（今年度は残念ながら女性は0名）過去2回と同じ企業からの塾生もいますが、4社（4名）は今年から参加して頂いた企業です。

第3期生塾生リーダーは加藤大典氏（大阪美鋳工業株）に務めて頂きます。はじめに加藤リーダーから挨拶があり、次に塾生同士で名刺交換、そして塾生が一人ずつ登壇して自己紹介をして頂きました。

自己紹介の後は、これから1年間、各見学・研修先で規律正しく挨拶をするために、塾生リーダーの掛け声で「号令」の練習をしました。

塾生による「号令」の練習が終わり、林秀昭会長より開塾式にあたり、「研修はもちろんのこと、交流会にも積極的に参加していただき、勉強と友情の両方を得てください」とのご挨拶がありました。



塾生同士の名刺交換



林会長より 開塾にあたってのご挨拶

次に朝田武志副会長兼安全技術委員長より、研修塾の年間スケジュール

と研修塾の意義の説明などがあり、閉塾式は滞りなく終了しました。

## 濱田恵社長 開塾式 講話



濱田プレス工業 濱田社長の講話

開塾式のメインとして講演会を開催致しました。講師は濱田プレス工業株式会社の濱田恵社長にお願いしました。濱田社長は一昨年、昨年の開塾式にもご講話して頂いております。以下に今回の講話の内容を抜粋して記述します。

濱田プレス工業は金型生産から始まって、塑性加工、溶接、仕上げ、塗装、電気配線などを施して、検査を行ったうえで最終製品としてお客様に卸しています。

大手の下請けがメインですが、独自にメリックスという工具用キャビネットを製造販売、揺れ等でも開かない仕組みになっており、地震対策を重んじる会社に導入されています。

その他にも、日本での防犯灯の製造を全面的にやめる報道をみて、濱田のブランドとして製造販売、京都市などへ 3

万本を納入しています。

デジタルサイネージ（電子看板）はカーブ（曲線）が特徴です。駅や空港、デパートのショーウィンドに納入しています。当社では筐体設計製作から電気配線、設置、パソコンへの接続までを行っています。

360° カメラ（ドライブレコーダー）は、テレビで交通事故のニュースをみて、360° カメラでの記録の必要性を感じて、様々な会社の協力を得て、1年かけてJAFに販売しました。

電子黒板は全国の小中学校に納入を続け、今ではトヨタ自動車のEV組立ラインにも導入されています。

（車掌の訓練用）トレインシュミレーターはJR東日本から依頼があり、先方に何度も足を運び、車掌室の空間やドアの寸法なども見ながら製品を作成～納入し、いまだ発注がある状況です。

宅配ロッカーはもともと留守宅用に作ったものですが、コロナで非対面・非接触が重視され、今後も需要はあると考えています。

関西電力向けに光子局（防災支援）の製造をしています。電柱に取り付け、遠隔から光通信で高圧送電線の監視および開閉器を制御する装置です。

最近バッテリーケースも流行っており、当初はフォロークリフト用に作っていましたが、NTTからも引き合いがあります。

2022年7月には名張に最新鋭の塗装工場を竣工しました。

2023年5月にはR&Dキュービック京都を稼働し、風船で浮かぶほど軽いサイネージを作り、新聞発表しました。また、軽量で耐久性があり、曲がる次世代太陽光パネル「FLEXSI」を販売する予定です。

当社ではベトナムやミャンマーの実習生を現地で面接し、今50人超の方が当社で働いています。

社内では勉強会を実施して5名の電気工事士を育成しました。建設業の許可を私（濱田社長）が取得しました。他にも外国人実習生への日本語勉強会や中間管理職等にも勉強をお願いしています。また大学教授を招いて電気の勉強も行っています。

当社の「きらきら君」が与論島の夜空を邪魔しない防犯灯として新聞に掲載されました。

ニューヨークで人が着るサイネージを作ってファッションショーに出展、サイネージアワードを受賞、関西万博へも出展しています。

今後は京都の大山崎市に当社のパピリオンを私的に作ろうと考えています。

次に20作戦として、コストを下げ、生産性を上げるための作戦を年に1回行っています。

最後私は、3S活動として『すばやい反応』『鋭い感覚』『すぐ実行』を全員に徹底しています。皆さんもやろうと思えばいろんなことができるという参考にしてください。



真剣な眼差しの塾生の皆さん



# 塾生交流会

開塾式を終え 場所を杯杯天山閣（中華料理）に移動して塾生の交流会を開催しました。

交流会開催にあたり、まず乾杯の前に、開塾式での濱田社長のご講和に対して、3名の塾生より質問があり、濱田社長より丁寧な回答と熱いエールを賜り、質問者のみならず、同席した塾生1人1人の心に響いたことと思います。



全員でカンパ〜イ！

そして、いよいよお待ちかねの交流会開演。

3期生の塾生14名、これからの1年間を見学・研修で共に学んでいく仲間です。

美味しい食事とお酒で大いに交流を深め、あちらこちらで楽しい歓談の声が聞こえていました。

楽しい時間はアツという間にすぎ、最後は1年後の成長する自身の姿を思い描きながら、一本締めで本会を終宴しました。



締めのご挨拶 島田副会長

次回の金属プレス研修塾は11月21日（金）に鉄鋼材料の製造工程の研修として、株式会社神戸製鋼所加古川製鉄所を訪問見学して鉄鋼材料の製造について学ぶ予定です。



濱田社長から丁寧な回答と熱いエール

